

統合開発環境CS+ (旧CubeSuite+) V3.00.00へのバージョンアップのお知らせ

-- 統合開発環境「CubeSuite+」は製品名を「CS+」に変更しました --

統合開発環境CS+ (旧CubeSuite+) をV2.02.01からV3.00.00へバージョンアップしました。

1. アップデート対象バージョン

CS+ (旧CubeSuite+) 共通部分 V1.00.00～V1.03.00 および V2.00.00～V2.02.01
バージョンの確認方法は、以下のURLをご参照ください。

https://www.renesas.com/cs+_ver

2. リビジョンアップ内容

2.1 CS+ 共通部分 (旧CubeSuite+共通部分) (ビルド、デバッグ および 解析機能等の共通部分)

CubeSuite+共通部分をV2.02.01からV3.00.00へ更新し、以下の2つに分割しました。

- CS+ for CC共通部分 (RX, RH850用)
- CS+ for CA,CX共通部分 (78K,RL78,V850用)

この2つはWindowsのスタートメニューから個別に起動できます。

2.1.1 ビルドツール

各共通部分に含まれるビルドツールおよび使用可能なバージョンは以下のとおりです。

(1) CS+ for CC (RX, RH850用)

- RXファミリ用ビルドツール CC-RX V2.02.00
- RH850ファミリ用ビルドツール CC-RH V1.01.00

(2) CS+ for CA,CX (78K,RL78,V850用)

- 78K0用ビルドツール CA78K0 V1.30
- RL78、78K0R用ビルドツール CA78K0R V1.70
- V850用ビルドツール CA850 V3.50 (V850E1、V850ESコア用)
- V850用ビルドツール CX V1.31 (V850E2Mコア用)

2.1.2 ビルド、デバッグ および 解析機能等の更新

(1) 全体の機能改善

- 分割パネルエリアの機能追加
- メモリ・マッピング・プロファイラの機能追加 (CS+ for CCのみ)
- オプションダイアログ機能の改善
- 外部ツール起動機能の改善
- ユーザーズマニュアル、オンラインヘルプ構成の変更 (CS+ for CCのみ)

(2) ビルド・ツールの機能改善 (CS+ for CCのみ)

- パラレル・ビルド機能の追加

(3) デバッグ・ツールの機能改善

- デバッグ・コンソールパネルの表示フォントの変更
(RXファミリでE1、E20エミュレータを使用する場合)
- ステップ実行性能の改善
(RXファミリでE1、E20エミュレータを使用する場合)
- 内蔵フラッシュを書き換えるプログラムをデバッグする機能の改善
(RXファミリでE1、E20エミュレータを使用する場合)
- RX64MグループのTrusted memory機能対応
(RX64MグループでE1、E20エミュレータを使用する場合)

備考: 自動生成されるスタートアップルーチンでは、

Trusted Memory機能用のオプション設定メモリは設定されておられません。RX64Mグループをご使用になる場合、Trusted Memory機能を使用する、しないにかかわらず、お客様で下記のTrusted Memory機能用のオプション設定メモリの設定をスタートアップルーチンに追記してください。

- TMイネーブルフラグレジスタ (TMEF)
- TM識別データレジスタ (TMINF)

設定方法については、10月1日付RENESAS TOOL NEWS 資料番号 141001/tn5をご参照ください。(10月3日から公開予定)

<https://www.renesas.com/search/keyword-search.html#genre=document&q=141001tn5>

- アクション・イベントの機能改善
(RXファミリでE1、E20エミュレータを使用する場合、RH850ファミリまたはRL78ファミリでE1エミュレータを使用する場合)
- ダウンロード機能の改善
(RXファミリでE1、E20エミュレータを使用する場合、RH850ファミリでE1エミュレータを使用する場合)
- フラッシュROM消去機能の改善
(RL78ファミリでE1エミュレータを使用する場合)

(4) デバッグ・ツールの注意事項の改修

RENESAS TOOL NEWSで連絡した以下の問題を改修しました。

- RX220グループをデバッグする際の注意事項

問題の詳細は、以下のURLをご参照ください。

<https://www.renesas.com/search/keyword-search.html#genre=document&q=140516tn1>

- RX64Mグループのタイマ計測イベントに関する注意事項

問題の詳細は、以下のURLをご参照ください。

<https://www.renesas.com/search/keyword-search.html#genre=document&q=140416tn3>

- データフラッシュメモリ書き換えに関する注意事項

(RL78ファミリ、78K0Rおよび78K0)

問題の詳細は、以下のURLをご参照ください。

<https://www.renesas.com/search/keyword-search.html#genre=document&q=140316tn1>

(5) Pythonコンソールの機能改善

- Python関数の追加

- Pythonクラスの追加

- Pythonプロパティの追加

2.2 コード生成

(1) CS+ RL78コード生成およびCS+ 78Kコード生成 (旧CubeSuite+ RL78, 78K0R, 78K0コード生成)

CubeSuite+ RL78, 78K0R, 78K0コード生成をV2.04.00からV2.05.00へ更新し、以下の2つに分割しました。

- CS+ RL78コード生成 (RL78用)

- CS+ 78Kコード生成 (78K0R、78K0用)

なお、CS+ へのアップデートにともないバージョン番号を変更するもので、機能に変更はありません。

(2) CS+ V850コード生成 (旧CubeSuite+ V850コード生成)

V2.00.01からV2.01.00へ更新しました。

CS+ へのアップデートにともないバージョン番号を変更するもので、機能に変更はありません。

(3) CS+ RXコード生成 (旧CubeSuite+ RXコード生成)

V1.02.00からV1.03.00へ更新しました。

CS+ へのアップデートにともないバージョン番号を変更するもので、機能に変更はありません。

2.3 デバイス依存情報

(1) CS+ RL78デバイス依存情報およびCS+ 78Kデバイス依存情報

(旧CubeSuite+ RL78ファミリ, 78Kデバイス依存情報)

CubeSuite+ RL78ファミリ, 78Kデバイス依存情報を

V1.00.18からV3.00.00に更新し、以下の2つに分割しました。

- CS+ RL78デバイス依存情報 (RL78用)

- CS+ 78Kデバイス依存情報 (78K0R、78K0用)

CS+ RL78デバイス依存情報 V3.00.00では、以下のような更新を行って

います。

(a) サポートマイコンの追加

以下のグループをサポートしました。

- RL78ファミリ RL78/G1Gグループ

(b) SFR情報の修正

以下のグループにおいてSFR情報を修正しました。

- RL78ファミリ RL78/F14グループ
- RL78ファミリ RL78/F13グループ

詳細内容は以下のURLで確認してください。(10月1日公開予定)

http://tool-support.renesas.com/autoupdate/support/jpn/cs_plus/DeviceInformation_RL78_List.html

CS+ 78Kデバイス依存情報は、CS+ へのアップデートにともないバージョン番号を変更しました。機能に変更はありません。

(2) CS+ V850デバイス依存情報 (旧CubeSuite+ V850デバイス依存情報)

V1.00.11からV3.00.00へ更新しました。

V3.00.00では、以下のような更新を行っています。

(a) サポートマイコンの追加

以下のグループにおいてサポートマイコンを追加しました。

- V850E2/PG4-S

(b) SFR情報の修正

以下のグループにおいてSFR情報を修正しました。

- V850E2/FF4-G
- V850E2/FG4-G

(c) サポートマイコンの削除

以下のグループにおいてサポートマイコンを削除しました。

- V850E2/SG4-H
- V850E2/SJ4-H

詳細内容は以下のURLで確認してください。(10月1日更新予定)

http://tool-support.renesas.com/autoupdate/support/jpn/cs_plus/DeviceInformation_V850_List.html

(3) CS+ RXデバイス依存情報 (旧CubeSuite+ RXデバイス依存情報)

V1.02.00からV1.04.00へ更新しました。

V1.04.00では、以下のような更新を行っています。

(a) サポートマイコンの追加

以下のグループにおいてサポートマイコンを追加しました

- RX111グループ

(b) デバイス情報の修正

以下のマイコンに関連するデバイス情報を修正しました。

- RX21Aグループ

詳細は、以下のURLで参照ください。(10月1日更新予定)

http://tool-support.renesas.com/autoupdate/support/jpn/cs_plus/DeviceInformation_RX_List.html

なお、RX64Mグループを使用する場合、RENASAS TOOL NEWS 資料番号 141001/tn5 の注意事項にV1.04.00が該当しますので、ご確認ください。

(10月3日から公開予定)

<https://www.renesas.com/search/keyword-search.html#genre=document&q=141001tn5>

(4) CS+ RH850デバイス依存情報 (旧CubeSuite+ RH850デバイス依存情報)

V1.00.04からV3.00.00へ更新しました。

V3.00.00では、以下のような更新を行っています

(a) サポートマイコンの追加

以下のグループにおいてサポートマイコンを追加しました。

- RH850ファミリ RH850/C1Hグループ
- RH850ファミリ RH850/C1Mグループ
- RH850ファミリ RH850/F1Hグループ
- RH850ファミリ RH850/F1Lグループ

(b) デバイス情報の修正

以下のグループに関連するデバイス情報を修正しました。

- RH850ファミリ RH850/F1Lグループ

詳細は、以下のURLで参照ください。(10月1日更新予定)

http://tool-support.renesas.com/autoupdate/support/jpn/cs_plus/DeviceInformation_RH850_List.html

2.4 アップデートマネージャ

V2.01.01からV2.02.00へ更新しました。

詳細は、以下のURLで参照ください。(10月1日更新予定)

http://tool-support.renesas.com/autoupdate/support/jpn/cs_plus/Update_Manager_List.html

2.5 MCU Tools用USBドライバ (32-bit Windows OS)

以下のUSBドライバのインストーラを一本化し、CS+ V3.00.00に対応しました。

- MINICUBE2 USB ドライバ (32ビット版)
- MINICUBE USB ドライバ (32ビット版)
- IECUBE USB ドライバ (32ビット版)
- IECUBE2 USB ドライバ (32ビット版)

一本化後の名称は「MCU Tools用USBドライバ (32-bit Windows OS)」になります。

2.6 CS+ ユーティリティ (旧CubeSuite+ ユーティリティ)

V2.00.01からV3.00.00へ更新しました。

詳細は、以下のURLで参照ください。(10月1日更新予定)

http://tool-support.renesas.com/autoupdate/support/jpn/cs_plus/Utilities_List.html

3. アップデート方法

無償でオンラインアップデートできます。アップデート方法はお持ちのCubeSuite+によって異なります。

注意: RXシリアルデバッグを使用する場合は、CS+ V3.00.00にアップデートせず、引き続きCubeSuite+ V2.02.00をご使用ください。

RXシリアルデバッグはCS+ V3.00.00では動作しません。

詳細は、RENASAS TOOL NEWS 資料番号 141001/tn8 を参照ください。

以下のURLでも参照できます。(10月3日から公開予定)

<https://www.renesas.com/search/keyword-search.html#genre=document&q=141001tn8>

3.1 CubeSuite+ V2.00.00以降を使用している場合

以下のいずれかの方法でアップデートしてください。

(1) スタートメニューから プログラム -> Renesas Electronics CubeSuite+ を選択し、アップデートマネージャを起動してアップデートする。

(10月1日からサービス開始予定)

注意: ラピッドスタートを有効にしてCubeSuite+を起動している場合は、CubeSuite+を一旦終了した後にアップデートマネージャを起動してください。

ラピッドスタートによりCubeSuite+がWindows上の通知領域(タスクトレイ)内に常駐している場合は、エラーが発生し、以下のメッセージが表示されます。

M0120001

"CubeSuite+W.exe"

が起動中のため、インストールは中断されました。

次回ツール起動時に再開されます。

(2) 以下のURLから必要なソフトウェアツールをダウンロードしてインストールする。(10月6日から公開予定)

https://www.renesas.com/cs+_download

3.2 CubeSuite+ V1.03.00以前を使用している場合

以下のURLから無償評価版CS+ V3.00.00 をダウンロードしてアップデートしてください。(10月6日から公開予定)

https://www.renesas.com/cs+_download

4. 評価版の入手方法

製品版CS+を購入する前に、無償評価版で製品の機能や性能を評価できます。

以下のURLから無償評価版CS+をダウンロードしてください。

(10月6日からインストーラ公開予定)

https://www.renesas.com/cs+_download

なお、無償評価版のインストール時に、CubeSuiteのライセンスまたは別売りのCubeSuite+、CS+のライセンスを入力することで製品版として使用することができます。

5. 購入方法

ご注文の際には、以下の情報を最寄りの弊社営業または特約店までご連絡ください。

製品名: RL78、78Kファミリ用Cコンパイラパッケージ

(統合開発環境つき) V1

発注型名: R0C07800QSW01D 媒体ありの場合

R0C07800QSW01N 媒体なし、ライセンスのみの場合

製品名: RXファミリ用C/C++コンパイラパッケージ (統合開発環境つき) V2

発注型名: RTCRX0000CL02WDR 媒体ありの場合

RTCRX0000CL02WNR 媒体なし、ライセンスのみの場合

製品名: V850ファミリ用Cコンパイラパッケージ (統合開発環境つき) V1

発注型名: R0C08500QSW01D 媒体ありの場合

R0C08500QSW01N 媒体なし、ライセンスのみの場合

製品名: RH850ファミリ用Cコンパイラパッケージ (統合開発環境つき) V1

発注型名: RTCRH8500CL01WDR 媒体ありの場合

RTCRH8500CL01WNR 媒体なし、ライセンスのみの場合

価格については最寄りの弊社営業または特約店にお問い合わせください

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。